

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 2 第 2 5 号	受理年月日	令和 2 年 1 1 月 4 日
件 名	核兵器禁止条約に関する陳情		
【陳情の趣旨】 昔から世界中で戦争がありましたが核兵器を使用して被害にあったのは日本だけです。 それから 7 5 年が経過しましたが未だ核保有国が存続し地球上の安全は守られていません。 現在 1 9 6 か国が独立国家として存在し、1 9 3 か国が国連に加盟しています。又、1 2 か国が核保有国として想定されています（1 0 月 2 6 日の朝日新聞では 9 か国）。核保有国以外の 1 8 4 か国で大国の核保有国の大きな圧力に屈している国が多いことが想定されます。その結果、残念ながら「核兵器禁止条約」の批准国は 5 0 か国にすぎません。 前回の国連会議で日本は採決の際に米国と一緒に離席し、批准をしませんでした。 「核の傘」の下にある日本は「日米同盟の下で、核兵器を有する米国の抑止力を維持することが必要だ」との理由です。私はその時の情景を報道で観て日本の恥ずかしい姿に対し強い衝撃を覚えました。 日本が唯一の被爆国なのにどうして批准しないのか？政治の世界の裏側を垣間見た記憶があります。 政治家の役割とは何か？国会議員は国のため・世界のため、都道府県議員・市区町村議員は地元の人々に沿った政策を施行する立場にあります。すべての基本は民主主義であります。 これらの観点から日本人として誰でもが当たり前の判断を国の政治家が全うしていない現状を一般区民の代表である目黒区議会議員の皆様は会派・党派等関係なく受け止め、判断をして頂きたいと思います。 【陳情事項】 「核兵器禁止条約に日本が批准すべき」との見解を目黒区議会として国に意見書を提出して下さい。			